

# 決算特別委員会報告

委員長 高畑雅一

本定例会で平成17年度 ことの説明があった。

## (産業課)

川根本町会計決算認定に ついて、決算特別委員会に付託されました事件について9月8日、11日、12日、13日の4日間審査が行われいずれも原案のとおり認定されました。

中山間地域等直接支払制度交付金の現状についてこの制度は傾斜15度以上の傾斜地で1ha以上の耕作地が対象で1ha11、500円から92、000円の補助が

1/4の割合で7地区が補助を受けているとの説明があった。

## (総務課・管理課)

文書管理費に不用額が多いのはなぜかとの質問に合併して経費がどれ位掛かるか把握できなかつたためとの説明があった。

自治会振興費で、自治会再編成及び、自治会への交付金についての質問に再編は区長中心に話し合いを行っている。それぞれの地域の課題を抱えており難しいが、再編は避けて通れない問題であるため今後検討してい

## (町民課・住民課)

戸籍住民基本台帳費の住基ネットワークシステム事業委託料、機器借上料、戸籍電算化システム

事務委託料等の説明があり、住基ネット導入で住民へのサービスは向上したかの質問に、住基カードの発行数は、30人位と少なく横ばい状態で、申込みは個人的なものなので行政からは強く加入を勧められないとの説明があった。利用促進を進めて行くよう要望が出された。

塵芥処理費では、ごみ収集運搬委託料、車両借上料、ごみ処理広域化事業分担金等の説明があり、ごみ収集ルートや時間を地域の現状に合わせて検討しなおしてほしいとの要望があった。

土木総務費で、地域材活用住宅建築促進事業2戸木造住宅耐震補助成事業1戸の説明を受けた。耐震補強工事が進んでいないのは、多額の工事が掛かりなかなか工事の踏み込めない現状があり工事に県補助金、町独自の補助制度もあるが地元材を使用するという

規定がネックとなり、確認が取れないため補助金が出せない現状があり、今後規則の見直しを検討してほしいとの意見があった。道路新設改良箇所の質問があり、町道坂京線改良工事、町道野志本下村線道路舗装工事を含め10ヶ所の工事内容について説明があった。

社会福祉総務費で、民生委員の活動がそれぞれ旧2町で違いが見られるが今後の活動はどのような行っていくのかの質問に今後一本化していくとの説明があった。

予防費の現状についての質問があり、高齢者インフルエンザ予防接種は、65歳以上の高齢者を対象に実施しているが、対象者の70%を越える高い利用率であるとの説明があった。

企画環境課・企画観光課 町営バス委託料についてせせらぎ号、やませみ号の委託料の違いはとの質問に、運行距離の違いか

規定がネックとなり、確認が取れないため補助金が出せない現状があり、今後規則の見直しを検討してほしいとの意見があった。道路新設改良箇所の質問があり、町道坂京線改良工事、町道野志本下村線道路舗装工事を含め10ヶ所の工事内容について説明があった。

ら生ずるとの説明があった。また高齢者優待券発行の基準は75歳以上で200円が半額の100円になるとの説明もあった。ダム水源地振興費の内容についての質問があり、ふれあい館管理運営費として2名分の賃金、共済金の内訳、接岨峡湖岸遊歩道整備事業設計業務委託料、梅地公民館改良工事等について説明があった。

生涯学習課 資料館運営費で、修繕費のスポットライト交換費が高額ではないかとの質問に、展示施設のスポットライトが特殊なものであるため経費が掛かる、照明器具については現在検討中であるとの説明があった。

国民健康保険 負担金補助及び交付金の財源が一般会計で支出されているのはなぜかとの質問に、繰入基準がありこれに該当しないためとの説明があった。

簡易水道 一般管理費で旧本川根区の工費が少ないのに消費税が多いのはなぜかとの質問に、工事費の起債が多いと消費税も免除されるとの説明があった。

介護保険 保険料の収入未済額の内訳はとの質問に、65歳到達者年金なしの人が主であり、生活状況程度を考慮し、生活保護などの他制度の案内も行って

学校給食で食物アレルギーの生徒については、代替食または卵、大豆等を除いて調理している。

学校給食で食物アレルギーの生徒については、代替食または卵、大豆等を除いて調理している。